

佐世保市立江迎中学校

令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」

確かな学力を身につけ、豊かな心で地域
コミュニティの発展に協力できる生徒の育成

本校の概要

所在地	佐世保市江迎町乱橋584番地
校長	岩波直
生徒数	139名
学級数	9（特別支援学級3）

江迎中学校は佐世保市の北部に位置し、学校の立地する江迎町には旧平戸街道沿いに発達した歴史の古い商家や名刹が存在している。同町は旧産炭地であり、かつては江迎地区や猪調地区などを中心に賑わいを見せていたが、炭鉱閉山後は人口も減少し、平成22年には佐世保市と合併した。しかし、地域の人々は町政時代を忘れることなく、独立心をもって文化活動や教育に意欲的に取り組んでいる。江迎中学校もそのような地域に支えられ、期待される存在として、日々教育活動に邁進している。

生徒の実態と事業の目的

本校の生徒たちは素直で明るく、しっかりとした挨拶ができる。しかし、進路に対する意識は乏しく、自主性、向上心に欠けるといった課題もある。そのため本校では、「特色ある学校づくり対策事業」をとおして、外部人材の活用や地域交流を進め、生徒たちの進路意識や自主性を高めることで、生徒たちが自らの進路を切り開く意欲・能力を育成することとした。

実践内容・成果

1 確かな学力と豊かな心

(1) 高等学校の教科書の活用

いくつかの高等学校で使用する教科書を購入し、進学についての意識を高めるとともに、職員が高等学校の学習内容を把握し、学習指導に役立てられるようにした。

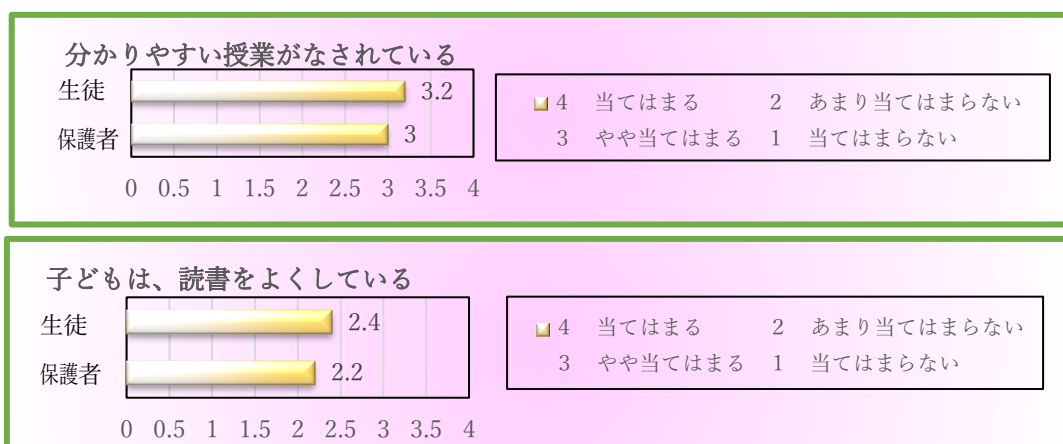


(2) 学習・職業に関する書籍の充実

数学・英語に関する書籍を展示し、休み時間等に生徒が主体的に学べるよう配慮した。また、職業調べの参考として、将来の進路選択の参考としての資料となるよう職業に関する書籍も展示した。

(3) 人権教育の充実

佐世保市教育委員会から協力いただき、映画「青い鳥」の上映を行った。中学生のいじめをテーマとした内容で、生徒は自分事として捉えながらいじめについて深く考え、日常にある言葉のやり取りや今までの自分の言動を振り返る良い機会となった。



(成果と課題)

令和4年度学校評価によると、「授業がわかりやすい」と答えた生徒は上のおりである。より一層授業改善に努めつつ、読解力や学びに向かう力の向上を図る。また、家庭と連携しながら、学校での学びを定着させるため、家庭学習を充実させる必要がある。

しかし、昨年度と同様に「読書をよくしている」と答えた生徒及び保護者の割合が低かった。「読みとる力」に関しては、学力の向上につながる重要な要素であるため、読書の習慣を身に付けさせる必要がある。

2 情報発信の多角化

(1) 学校だより・学校HP

月に2～3号の割合で学校便りを発刊し、各家庭や地域に配布した。また学校HPには、「今日の出来事」のコーナーで、学校の出来事や行事等の案内を行った。

(2) 安心メール

豪雨などへの対応や、コロナウイルス感染拡大防止など、緊急時に一斉メール(江迎中安心メール)を配信した。家庭に迅速な連絡を行うことができた。

3 地域との連携

(1) 地域人材の活用

① 伝統演舞(乱舞龍)

(5月・体育大会、8月・江迎千灯籠まつり)

江迎地区在住の講師を招聘し、地区の伝統演舞である「乱舞龍」を指導していただいた。振り付けは生徒自身が考え、体育大会及び江迎千灯籠まつりで披露した。伝統を継承し、生徒の地域愛の育む機会となった。



② 保健体育・武道（弓道）
（令和4年11月・第3学年）

江迎弓道会の方に、第3学年の保健体育の授業に外部講師として来ていただき、8時間の授業内で講義・実技を実施した。生徒たちは興味をもって参加し、弓道に関する知見を深めた。また、地域の方を招いたことで地元の方々への感謝の気持ちを育んだ。



③ 職場体験学習（令和4年9月 第2学年）

地域の福祉施設や企業で生徒たちが活動した。どの事業所からも生徒たちの学習態度の良さを褒めいただき、子どもたちも将来に対する目的意識を高めることができた。



(2)外部人材の活用

① 平和集会（令和4年6月28日 全学年）

NPO法人佐世保空襲を語り継ぐ会から講師を招き、平和講演会を実施した。佐世保空襲について理解を深め、平和に対する思いを深めた。



② いのちと健康を考える日（令和4年7月・全学年）

学校姿勢プロジェクトから講師を招き、「未来が変わる！姿勢の話」と題して正しい姿勢のポイントを講演していただき、正しい姿勢や簡単なストレッチ方法も実践を通して指導していただいた。生徒の感想から普段自分の姿勢が悪かったことや姿勢が集中力や学力につながることを理解したことがわかる。



③ 薬物乱用防止教室（令和4年7月・第3学年）

薬物の危険性や有害性、違法性などについて正しい知識を得、薬物を拒絶するための強い意志を育むことを目的に、薬物乱用防止教室を実施した。江迎警察署生活安全係から講師を招き、薬物使用者に対する対応の経験や法的な側面など、興味深く有意義な講義をしていただいた。



④ メディア安全講演会（令和4年11月・全学年）

佐世保高専からサイバーセキュリティボランティアの生徒2名、教職員2名を講師として招き、学校保健委員会を兼ねる形でメディア講演会を実施した。特に中高生の間で問題となっている、インターネットによる誹謗中傷や個人情報の流出などを題材として、ネット利用の落とし穴やその怖さを、具体的に分かりやすく講義していただいた。パスワードの強靱化など具体的な安全策を示していただき、メディアの危険とあわせて自己防衛についての理解が深まった。



⑤ 性教育講演会 (令和4年11月・第3学年)

心身の発育・発達や性に関する知識の理解を深めるために、佐世保市総合医療センターから講師を招き、講演会を実施した。思春期における体や心の変化、生命の誕生に至るまでの過程、妊娠や出産について話をしていただき、性について知識を深めるとともに異性に対する認識を再確認できた。

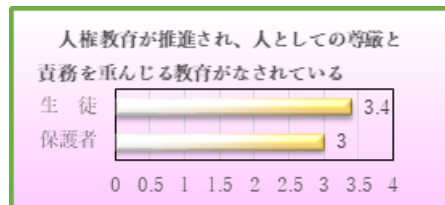
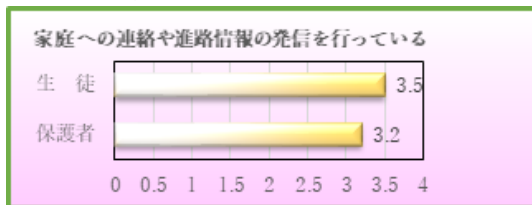


⑥ 家庭教育講座 (令和5年2月 全学年・保護者・地域)

市教育委員会の家庭教育講座を活用し、学校保健委員会を兼ねる形で、2名の高校の先生方を講師として招き、「夢があるから頑張れる」と題して講演をいただいた。不慮の事故にあった実体験の話から、「諦めない心の大切さ」を学び、子どもたちが夢や希望を持ち続けることの大切さや、くじけずに努力しようとする心情を育成できた。



(成果と課題)



令和4年度学校評価によると、「学校は、家庭への連絡、進路の情報提供などをきちんと行っている。」(情報発信)と答えた生徒・保護者は多かった。今後、計画的かつ頻繁に情報発信を行い、保護者との連携や地域との交流などを積極的に進め、生徒の進路意識を向上させていく必要がある。

また、「人権教育が推進されている」と答えた生徒の割合が高いことから、多くの外部講師の講演や地域の方々との触れ合いをとおして、豊かな心の醸成につながったものと推察できる。今後も学校教育活動全体をとおして、更には本校の特色を生かしながら、地域に根差した学校づくりを推進していかなければならない。

来年度に向けて

学校評価の結果、数項目で若干の数値の低下が見られた。特に、生徒の学力や生活について、保護者、職員、そして生徒自身も危機感をもっている。学力向上は来年度、大きな柱として設定し、子どもの主体的な学びにつながる取組を実践していかなければならない。楽しく学校に登校している生徒の割合が高いだけに、今より一歩先へ進めるよう鍛え、予測不可能な社会を生き抜く力となる学力や生活習慣を身に付けさせていく。そのためにも、地域コミュニティを生かしつつ、学校、家庭、地域と連携して子どもを育成していく必要がある。

なお、外部講師による講演会は、子どもにとって大変大きな刺激となっている。このような取組は継続していくとともに、今後は家庭や地域の方にも参加していただき、話題を共有していきたい。